

平成27年度当初予算 施策 取組概要

154 大気・水環境の保全

(主担当部局：環境生活部)

- 15401 大気・水環境への負荷の削減 (環境生活部)
- 15402 自動車環境対策の推進 (環境生活部)
- 15403 生活排水対策の推進 (環境生活部)
- 15404 伊勢湾の再生 (環境生活部)
- 15405 環境保全のための調査研究の推進 (環境生活部)

県民の皆さんとめざす姿

自動車排出ガスや生活排水など身近な暮らしの環境問題に対する意識が高まり、県民の皆さんやさまざまな主体が協力して大気や水環境の保全に積極的に取り組んでいます。

また、大気や河川、海域の環境基準が達成され、県民の皆さんが良好な大気・水環境のもとで、健康的な生活を営んでいます。

平成27年度末での到達目標

県民や事業者の皆さんによる、自動車排出ガスによる局地的な大気汚染の解消への取組が進み、大気環境測定地点における大気環境基準が達成されるとともに、生活排水処理アクションプログラムの目標の達成等により、河川や海域における水質が維持または改善しています。

また、地域において森・川・海のつながりを意識しながら、さまざまな主体による連携した取組が活発に行われるようになっていきます。

県民指標

目標項目	23年度	24年度	25年度	26年度		27年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値
大気環境および水環境に係る環境基準の達成率		93.9%	95.0%	96.0%		97.0%
	76.7%	92.9%	92.1%			
目標項目の説明と平成27年度目標値の考え方						
目標項目の説明	大気環境測定地点および河川・海域水域における環境基準の達成割合					
27年度目標値の考え方 (みえ県民カビジョン記載内容を転記)	全地点および全水域で環境基準を達成することを前提とし、一部の環境基準の達成が著しく困難な水域については、水質改善を図ることとして目標値を設定しました。					

活動指標

基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度	26年度		27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値
15401 大気・水環境への負荷の削減 (環境生活部)	大気・水質の排出基準適合率		100%	100%	100%		100%
		99.2%	99.3%	99.3%			

基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度	26年度		27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値
15402 自動車 環境対策の推進 (環境生活部)	NOx・PM 法対策 地域内の大気環 境基準達成率		100%	100%	100%		100%
		60.0%	100%	100%			
15403 生活排 水対策の推進 (環境生活部)	生活排水処理施 設の整備率		78.8% (23年度)	79.7% (24年度)	80.5% (25年度)		81.4% (26年度)
		78.0% (22年度)	79.1% (23年度)	79.5% (24年度)			
15404 伊勢湾 の再生 (環境生活部)	水環境の保全活 動に参加した県 民の数		19,000人	24,500人	25,500人		26,500人
		16,475人	23,834人	21,725人			
15405 環境保 全のための調査 研究の推進 (環境生活部)	調査研究成果件 数		4件	4件	4件		4件
		3件	4件	2件			

進捗状況（現状と課題）

- ①工場・事業場に対する立入検査により、排出基準や総量規制基準の遵守を徹底し、大気環境および河川・海域等の水質保全を図っています。県内の大気環境は、PM2.5（微小粒子状物質）等について環境基準を達成できていない状況にあり、指針値超過のおそれがある場合は迅速に県民への注意喚起を行っています。水環境については、伊勢湾の水質環境基準の達成率（COD）が56%（平成25年度）と低い状況にあることから、引き続き汚濁負荷の削減が必要です。なお、河川における水生生物の保全に係る水質環境基準の類型指定を平成26年度中に行うこととしています。
- ②自動車NOx・PM法対策地域内の全ての測定局において、3年連続で二酸化窒素等の環境基準を達成しました。平成32年度には対策地域内の全域での環境基準の達成を目標としているため、引き続き、対策地域内の二酸化窒素等の状況を把握していく必要があります。
- ③海域における陸域からの汚濁負荷の主要因の一つである生活排水については、処理施設の整備率が平成25年度末で80.8%まで進捗し、目標値（80.5%）に達しましたが、全国平均（88.9%）と比較すると未だ低い状況にあり、単独処理浄化槽や汲み取り世帯が多く残されています。また、平成26年1月に国において生活排水処理施設「10年概成」の方針が示されたことから、本県の生活排水処理アクションプログラムのための「生活排水処理基本方針」を策定したところです。
- ④伊勢湾の貧酸素水塊等の対策に係る調査研究を三重大学など研究機関と連携し進めてきたところですが、有効な対策に向けてはさらなる知見の蓄積が必要です。
- ⑤海岸漂着物対策については、国の平成24年度補正予算で措置された「海岸漂着物地域対策推進事業」を活用し、県内の海岸漂着物の回収・処理および発生抑制対策を進めていますが、国による財政措置が平成25～26年度の2カ年とされていることから、平成27年度以降も財政措置が継続されるよう、国への働きかけを行っているところです。また、発生抑制対策においては、広域的な取組が必要であることから、東海三県一市の海岸漂着物対策検討会において、本県がリーダーシップを取り、発生抑制等の取組を進めているところです。
- ⑥水環境の保全に向けては、民間団体等によるボランティア活動が非常に重要であることから、県民、民間団体、企業などさまざまな主体の参画による「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」を進めているところですが、参加者数の拡大を図る必要があります。

- ⑦環境保全のための調査研究については、PM2.5の調査や閉鎖性水域である伊勢湾の水質改善など、行政課題をふまえた調査研究を行っており、今後も環境基準の新たな指標や項目の追加などが見込まれることから、研究課題を的確に捉え、着実に成果を積み上げていく必要があります。

平成27年度の取組方向

- ①大気環境や公共用水域の水質を保全するため、工場・事業場に対する重点的・計画的な立入検査により、排出基準等の遵守の徹底を図ります。また、PM2.5等の大気環境の常時監視を行い、測定結果について迅速な情報提供に努めます。水環境の保全については、第7次総量削減計画に基づく伊勢湾の汚濁負荷の削減を進めるとともに、河川における水生生物の保全に係る水質環境基準の類型指定を平成26年度に行うことから、これに係る環境基準項目の常時監視を平成27年度以降行います。
- ②自動車NO_x・PM法対策地域内における二酸化窒素や浮遊粒子状物質の削減状況を調査し、「三重県自動車排出窒素酸化物及び自動車排出粒子状物質総量削減計画」の進行管理を引き続き行っています。
- ③生活排水処理未普及人口の解消に向け、現行の生活排水処理アクションプログラムに基づき、市町および関係部と連携し、処理施設の効率的・効果的な整備を進めます。また、生活排水処理施設「10年概成」の国の方針をふまえた県の「生活排水処理基本方針」に基づき、中期目標（平成37年度）・長期目標（平成47年度）の生活排水処理アクションプログラムを策定します。
- ④伊勢湾の貧酸素水塊等の対策に向け、関係機関と連携した調査を引き続き実施します。
- ⑤海岸漂着物対策については国の予算を確保し、回収・処理および発生抑制対策事業を引き続き実施します。また、東海三県一市の海岸漂着物対策検討会においても、引き続き本県がリーダーシップを取り、海岸漂着物対策に係る国への提言活動をはじめ、発生抑制のための取組を推進します。
- ⑥「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」については、民間団体、企業等と連携しながら、さらに参加者数の拡大を図ります。
- ⑦PM2.5対策や伊勢湾の水質改善など、大気・水環境の課題に対応した調査研究を行い、得られた成果を施策への展開につなげるとともに、年報・学会発表等を通じた情報発信を行います。また、技術情報の収集等により技術力の維持・向上に努めます。

主な事業

- ① 大気テレメータ維持管理事業【基本事業名：15401 大気・水環境への負荷の削減】
予算額：(26) 104,058千円 → (27) 104,403千円
事業概要：環境総合監視システムにより大気環境基準の達成状況を把握するとともに、排出ガスを多量に発生する発生源の常時監視を行い大気環境の保全を図ります。また、PM2.5や光化学オキシダントの濃度上昇により健康への影響が懸念される場合、速やかに県民の皆さんに情報提供を行います。
- ② 工場・事業場排水規制事業【基本事業名：15401 大気・水環境への負荷の削減】
予算額：(26) 1,766千円 → (27) 1,818千円
事業概要：水質汚濁防止法に規定する特定事業場等を対象に立入検査を実施し、排水基準の遵守状況等に係る監視指導を行うことにより、公共用水域の水質改善を図ります。
- ③ 河川等公共用水域水質監視事業【基本事業名：15401 大気・水環境への負荷の削減】
予算額：(26) 37,796千円 → (27) 39,412千円
事業概要：公共用水域および地下水の水質常時監視を行うほか、伊勢湾に流入する汚濁負荷量（COD、窒素、りん）の総量規制に係る調査等を実施し、河川、海域等の水質保全を図ります。

④ 自動車NO_x等対策推進事業【基本事業名：15402 自動車環境対策の推進】

予算額：(26) 7,722千円 → (27) 6,088千円

事業概要：「三重県自動車排出窒素酸化物及び自動車排出粒子状物質総量削減計画」に基づき、窒素酸化物や粒子状物質の排出量削減に向けた取組を進めるとともに、進行管理の調査を行います。

⑤ 生活排水総合対策指導事業【基本事業名：15403 生活排水対策の推進】

予算額：(26) 4,956千円 → (27) 7,886千円

事業概要：浄化槽の適正な維持管理の指導等により公共用水域の水質保全を図ります。また、生活排水対策の総合的な推進のため、現行の生活排水処理アクションプログラムに基づき、関係部局と連携を図り進行管理を行うとともに、次期生活排水処理アクションプログラムを策定します。

⑥ 浄化槽設置促進事業【基本事業名：15403 生活排水対策の推進】

予算額：(26) 235,053千円 → (27) 271,068千円

事業概要：浄化槽設置者に市町が補助を行う事業および市町が浄化槽を設置する事業等に対し助成を行い、生活排水処理施設の整備率の向上および水環境の保全を図ります。

⑦ 伊勢湾行動計画推進事業【基本事業名：15404 伊勢湾の再生】

予算額：(26) 135,162千円 → (27) 2,075千円

事業概要：伊勢湾再生推進会議において策定した「伊勢湾再生行動計画」を進めるとともに、「三重県海岸漂着物対策推進計画」に基づき、「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」をはじめとした海岸漂着物の回収・処理、発生抑制の取組を三県一市の枠組みも活用して実施します。

⑧ 環境試験研究管理事業【基本事業名：15405 環境保全のための調査研究の推進】

予算額：(26) 33,326千円 → (27) 111,886千円

事業概要：保健環境研究所において環境保全に係る調査研究を行うとともに、精確かつ迅速な試験、検査を行うため、分析機器の保守点検および修理、更新を行い、精度維持を図ります。